

充実する伝承館資料

伝承館では開館以来、展示資料の収集に努めてきましたが、昨年度から本年度にかけて、多くの皆様から貴重な資料を下記のとおりご寄贈いただきました。展示品として、また今後の研究資料として大いに活用していきます。ご協力ありがとうございました。

- ①荒川浩和氏（東京都新宿区）
父である荒川青亭が描いた絵模様入り角館春慶をはじめとする荒川家所蔵漆器 16点
- ②齋藤モト氏（仙台市宮城野区）
姉の故戸嶋クニ氏のコレクションだった雛人形や錦絵一式、さらには小柳金太郎作品を含む樺細工 19点と書籍一式
- ③山崎美佐子氏（仙北市角館町）
山崎家で代々作られてきた押絵や雑道具・押絵下絵一式
- ④齋藤宏氏（仙北市角館町）
父の齋藤賢一郎（俳号白鳳）が使用した弓や矢筒などの弓道道具 17点
- ⑤伊藤茂氏（秋田市広面）
昭和30年代初頭の八橋人形（土人形）など 18点
- ⑥長山國照氏（仙台市泉区）
古樺細工胴乱 3点
- ⑦本間良一氏（大仙市刈和野）
戦後の樺細工を代表する職人田口芳郎・佐藤省一郎・小柳金太郎・鈴木昭一などの代表的な作品 16点
- ⑧荒川久枝氏（仙北市角館町）
荒川家に伝世した雛人形・押絵・武者人形・雑道具など 36点
- ⑨千葉克介氏（仙北市角館町）
樺細工と白岩焼の名品を写したポジフィルム 347点



佐藤省一郎作「楕円形茶筒」

仙北市夏休み里帰りキャンペーン

「田沢湖・角館観光連盟」では、仙北市に縁のある方々から、里帰りをするため故郷を元気にするためのお手伝いをいただくため「仙北市夏休み里帰りキャンペーン」を今月1日から9月30日まで実施しています。



ダイレクトメールを在京ふるさと会、東京若杉会、東京駒草会等の会員の皆様にお送りし、本キャンペーンご利用のお願いをしています。

キャンペーンの内容は、帰省の際にダイレクトメールに添付されているキャンペーン参加票を下記の問い合わせ先へ持参いただき、「宿泊クーポン券」や「元気商品券」と引換いただき、各加盟店でご使用いただくものです。

市民の皆様も、ご親戚やお知り合いで、上記会員の方がいましたら、ふるさとの復興にご協力いただけるよう、お声掛けをお願いします。

●問合せ／仙北市田沢湖観光情報センター「フォレイク」
☎ 43-2111
仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」 ☎ 54-2700

伝統的工芸品産業振興協会代表理事就任を祝う会開催

西陣織や九谷焼に代表される伝統工芸品産地組合など、全国で609の団体・個人が加盟している組織の代表となられた田口宗平さんの就任を祝う会が、8月2日、グランデールガーデンで開催されました。

市内樺細工関係者のほか、県内産地組合や県・市の関係者50人が出席し、お祝いと今後のご活躍を祈りました。



節電の夏
熱中症に
気を付けよう！



今年の夏は、電力不足により家庭や職場で、エアコンなどの使用抑制が行われるなど、節電への取り組みが行われています。

しかし、節電を意識しすぎ、無理をして熱中症になっては大変です。適切な予防をすれば防ぐことができますので、熱中症に対する正しい知識を身につけ、予防に努めましょう。

【熱中症とは】

体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり起こります。筋肉痛や大量の発汗、さらには吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害などが起こります。熱中症は、屋外で活動しているときだけでなく、就寝中など室内でも発症し、救急搬送されたり、亡くなられたりする事例が報告されています。

【熱中症の予防法】

- ①こまめな水分・塩分の補給
のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給を。
- ②こまめな体温測定
特に高齢者、子ども、障がい者（児）は注意！
- ③熱中症になりにくい室内環境
こまめに室温を確認し、扇風機やエアコンで温度調整を。（こまめな換気、遮光カーテン、すだれなどで、室温が上がりにくい環境を確保）
- ④外出時の準備
日傘や帽子、通気性の良い吸湿・速乾の衣類の着用、保冷剤、氷、冷たいタオルなどで体を冷却。日陰の利用やこまめな休憩。



【注意すること・お願い】

- ①暑さの感じ方は人によって異なります！
体調や暑さに対する慣れなどが影響して、暑さに対する抵抗力（感受性）は個人によって異なります。自分の体調の変化に気を付け、暑さの抵抗力に合わせて、万全の予防を心がけましょう。
- ②高齢者の方は特に注意が必要です！
熱中症患者のおよそ半数は高齢者（65歳以上）です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しているため、暑さに対する体の調整機能も低下しています。
のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分補給をしたり、暑さを感じていなくても扇風機やエアコンを使って温度調整をするよう心がけましょう。
- ③まわりが協力して、熱中症予防を呼びかけ合うことが大切です！
一人ひとりが周囲の人に気を配り、熱中症の予防を呼びかけ合うことで、熱中症の発生を防ぐことができます。
特に、熱中症にかかりやすい高齢者、子ども、障がい者（児）については、周囲が協力して注意深く見守るようにしましょう。



【熱中症になった時の処置】

- ①涼しい場所へ避難させる
 - ②衣服を脱がせ、体を冷やす
 - ③水分・塩分を補給する
- ※自力で水を飲めない、意識がない場合は、すぐに救急隊を要請しましょう。

④節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようご注意ください！
今年も、皆さんに節電の取り組みをお願いしていますが、節電を意識しすぎるあまり、健康を害することのないようご注意ください。
気温が高い日や湿度の高い日には、決して無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用するようにしましょう。

